

循環器外科・麻酔科に通院中の患者さんにご家族へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 近赤外分光法を用いた小児開心術における脳血流自動調節能の検討

[研究機関] 北海道大学病院循環器外科・麻酔科

[研究責任者] 森本 裕二 （麻酔科・科長）

[研究の目的]

手術中、脳に十分な酸素が届くよう、血圧を適切に調節する事は極めて重要な事です。最近、脳の酸素飽和度を体表から測定する機器を使用し、脳の血流が患者さんにとって十分かどうかを手術中に判断することが行われるようになってきました。しかし、人工心肺を使用する小児の患者さんにも同様の判断ができるのか、また、年齢によって適切な血圧に違いがあるのかどうかはよくわかっていません。

この研究では、過去に当院において小児心臓手術を受けた患者さんの脳酸素飽和度と血圧の関係から、年齢や人工心肺が脳の血流に与える影響を調べ、手術成績の向上に役立てることを目的としています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

心房中隔欠損症もしくは心室中隔欠損症の患者さんで、平成 23 年 1 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日の間に、北海道大学循環器外科にて人工心肺を使用した心臓手術を受けた方（手術時 14 歳以下の方）

●利用するカルテ情報

- ①基本情報：年齢、性別、身長、体重
- ②疾患情報：疾患名、手術名、治療内容
- ③手術（麻酔）中の脳酸素飽和度（近赤外分光計INVOS5100で測定）
- ④手術（麻酔）中・集中治療室での血圧、中心静脈圧、末梢動脈血酸素飽和度、呼気二酸化炭素濃度、体温、血液ガス
- ⑤ 手術・麻酔記録からの情報：麻酔時間、手術時間、人工心肺時間、大動脈遮断時間、人工心肺充填液、輸液・輸血の種類と量、尿量、麻酔法、その他使用薬物
- ⑥ 体外循環用血液ガス分析装置（CDI-500で測定）からの情報：pH、酸素分圧、二酸化炭素分圧、酸素飽和度、ヘモグロビン濃度

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院麻酔科 担当医師 森本 裕二

電話 011-716-1161(内線 5982) FAX 011-706-7861